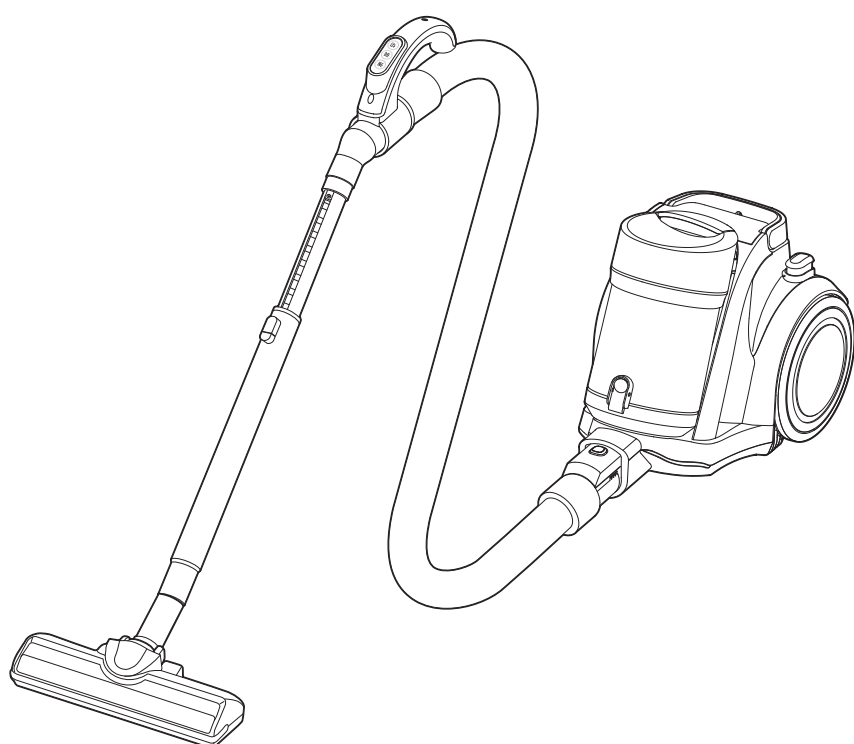


サイクロンクリーナー コンパクト IC-C100TF

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
各部の名称	4
ご使用前の準備	5

掃除のしかた

使いかた	6
収納のしかた	8

掃除のあとに

ごみの捨てかた	9
お手入れのしかた	10

こんなときには

故障かな？と思ったら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

保証書付

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「指示」内容です。



警告



禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。
- 水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない。
ショート・感電・故障の原因になります。
- 絶対に分解・修理・改造はしない。
発火・けが・異常動作の原因になります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しをしない。
感電・やけど・けがの原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
発火・ショート・感電の原因になります。
- 電源コードは黄色い印以上は引き出さない。
電源コードが断線したり接続部が破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない。
- 電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない。
火災の原因になります。



必ず実施

- 電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う。
火災・感電の原因になります。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよくふき取る。
湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差込む。
発火・ショート・感電の原因になります。

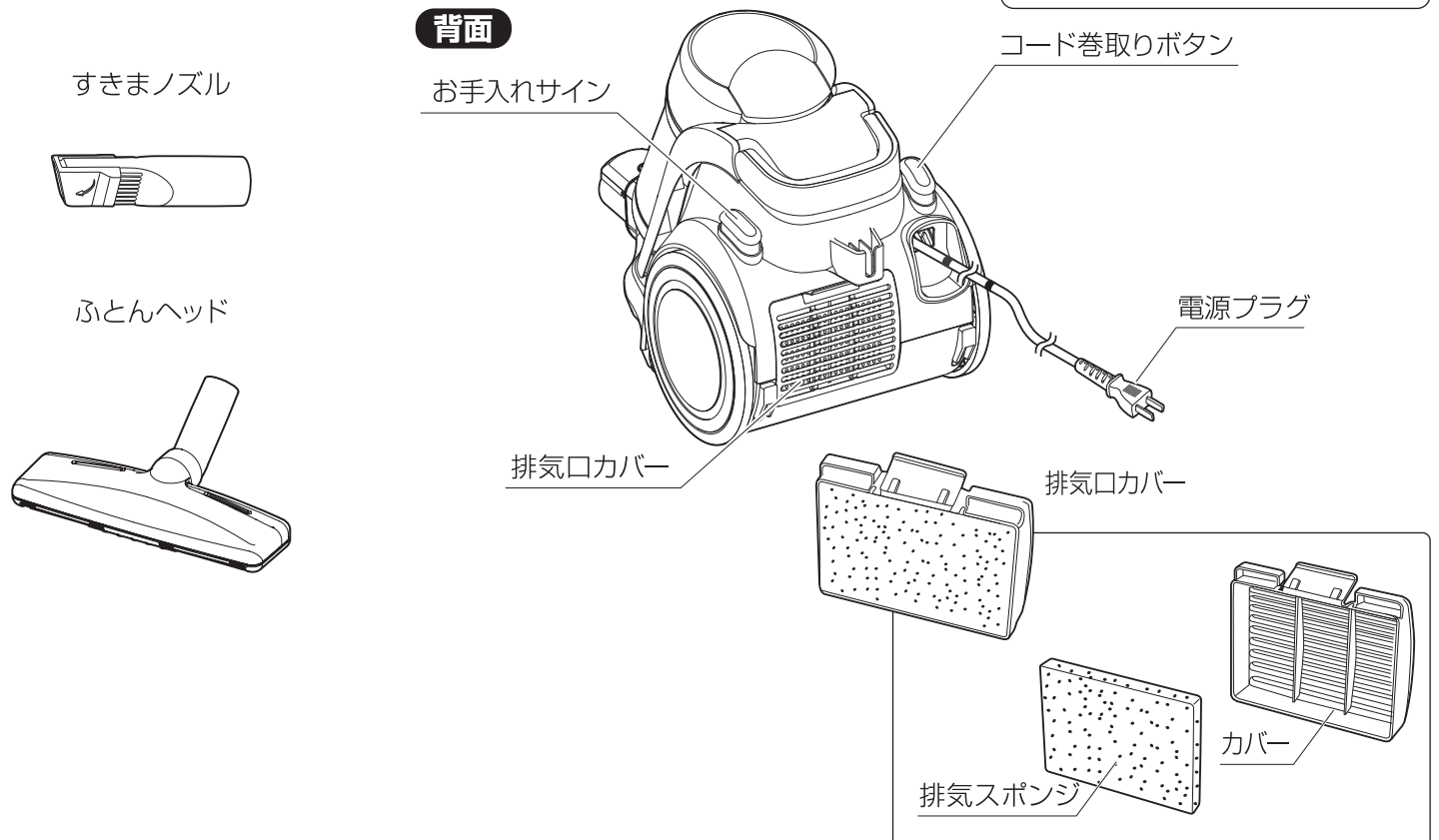
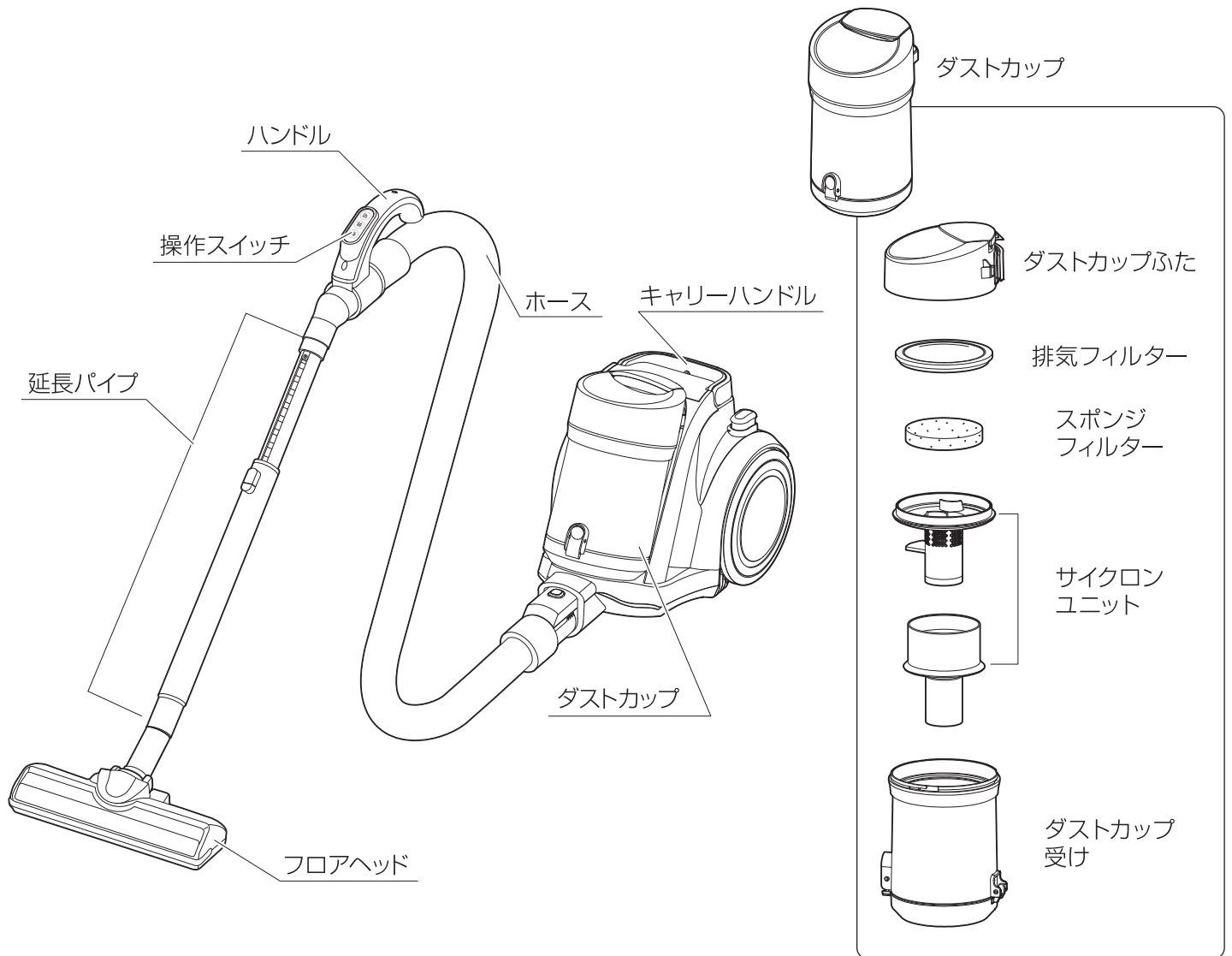
⚠ 注意

 禁止	●火気に近づけない。 本体・電源コードなどの変形によるショート・発火の原因になります。
	●吸込口をふさいで長時間運転しない。 ●排気口をふさがない。 過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。
	●破れたり、破損したフィルターは使わない。 故障・性能低下の原因になります。
	●本体にはのらない。子どもには遊ばせない。 けがや本体破損の原因になります。
	●ホースは踏んだり、無理に曲げたりしない。 ホース破損の原因になります。
	●運転中にコード巻取りボタンを押したりダストカップ取外しレバーを引かない。 けがや本体破損・故障の原因になります。
 必ず実施	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。 電源コードが断線し、発火・ショート・感電の原因になります。
	●電源コードは、まっすぐ引き出す。 電源コードが本体引き出し部とこすれて破損し、発火・ショート・感電の原因になります。
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になります。
	●持ち上げるときは、必ずキャリーハンドルをもつ。 本体が落下して、けがや床にきずがつく原因になります。

使用上のお願い

- この掃除機は室内用です。屋外では絶対に使わないでください。
- 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。また、清掃以外には使用しないでください。
- 電源コードは黄色の印以上は引き出さないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸込力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・すきまノズル・ふとんヘッドを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。本体を無理に引っ張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。きずがついたり破損する原因になります。
- ダストカップ内のごみは「ゴミすてライン」以上になる前に捨ててください。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 穴があいたり、きずがついたホースは使わないでください。

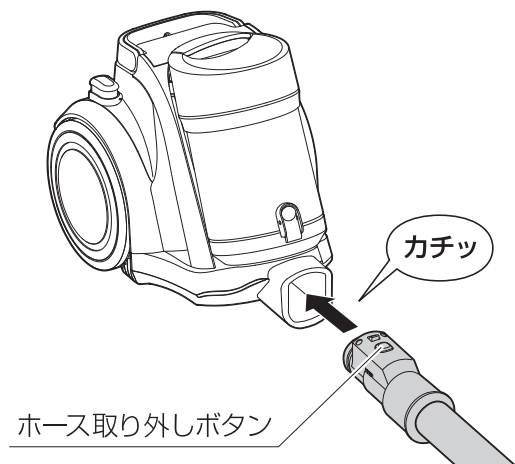
各部の名称



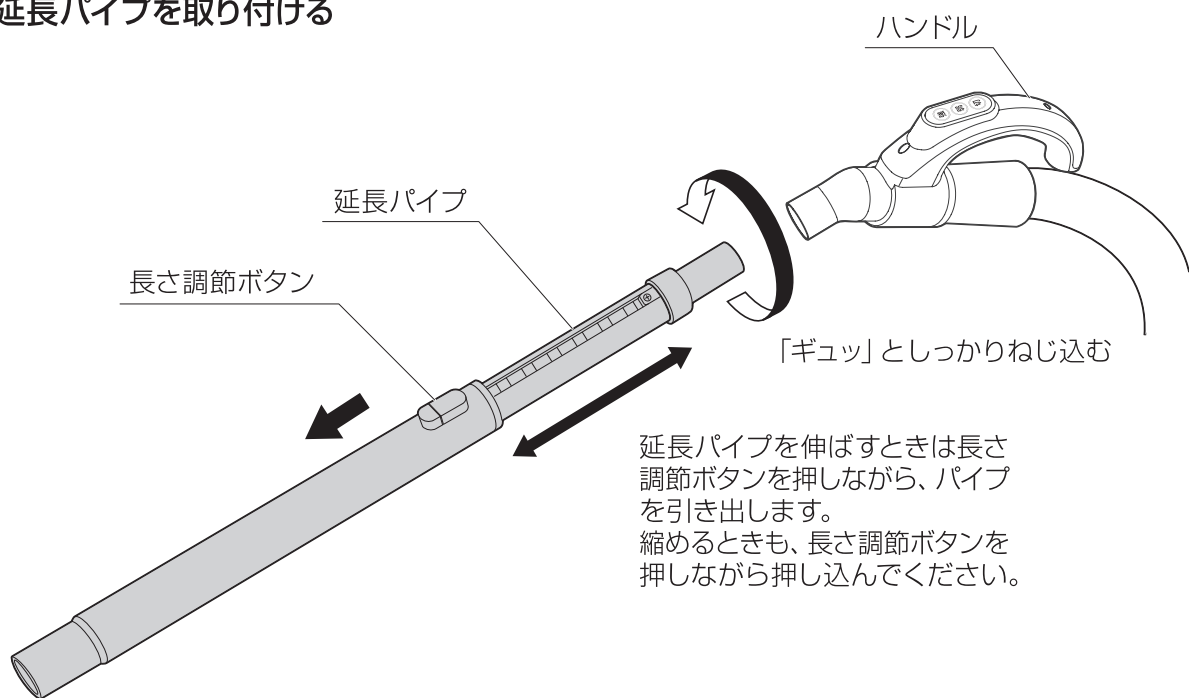
ご使用前の準備

1 本体にホースを接続する

本体の接続部にホースの接続部の向きを合わせてしっかり差し込みます。
ホースを外すときは、ホース取り外しボタンを押しながら抜きます。

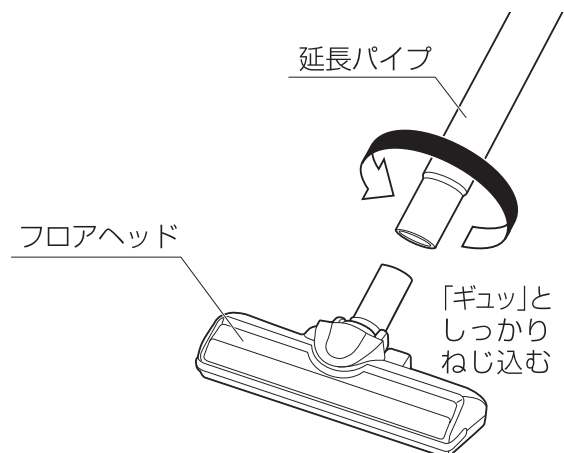


2 ホースに延長パイプを取り付ける



3 フロアヘッドを取り付ける

フロアヘッドを延長パイプに取り付けます。



使いかた

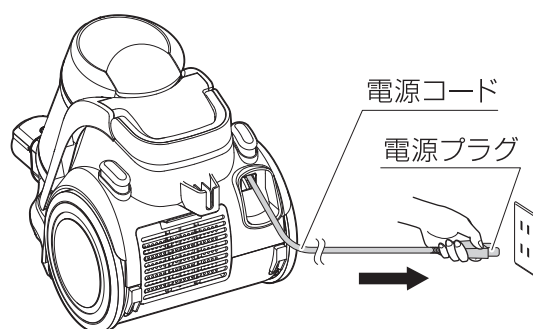
■運転のしかた

⚠ 注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。
吸込力の低下や詰まりの原因になります。
- フィルターやパイプが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが過熱し、安全のために製品の電源が一時的に切れますが、冷えると復旧します。

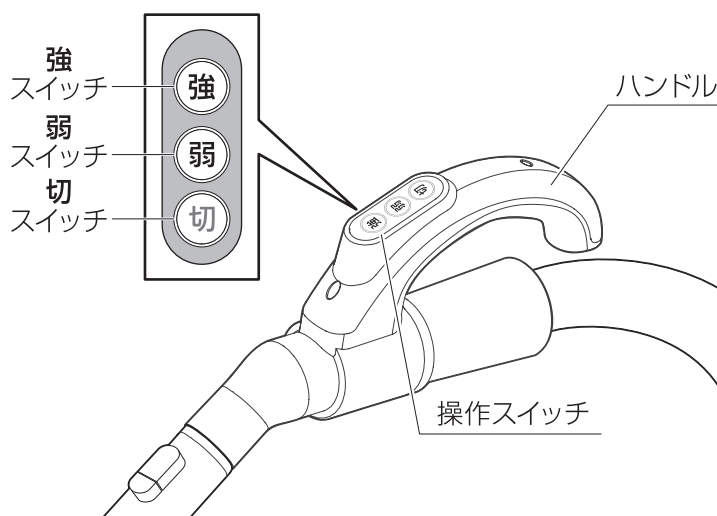
1 電源プラグを差し込む

電源コードを引き出し、電源プラグを持ってコンセントに差し込みます。



2 電源を入れる(運転開始)

ハンドル部分の操作スイッチ「強」あるいは「弱」スイッチを押します。
お掃除の種類によって「強」(強運転)あるいは「弱」(弱運転)に切り替えてください。

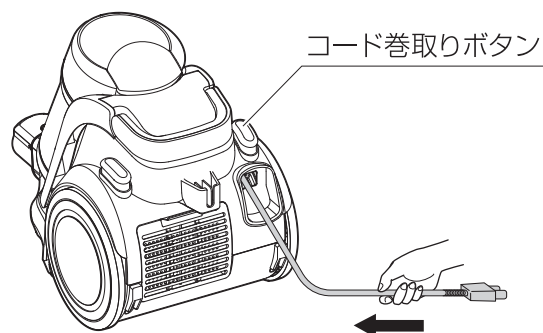


3 電源を切る

運転を停止する時は、「切」スイッチを押してください。

4 電源コードを収納する

運転が停止した状態で、電源プラグを持ってコンセントから抜きます。
電源コードを持ち、コード巻取りボタンを押して収納します。



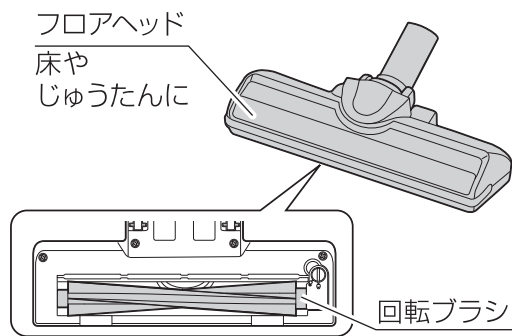
⚠ 注意

- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。
- ご使用が終わったら電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。
- ご使用後、電源コードはコード巻取りボタンを押して必ず本体に巻取ってください。
- 電源コードの本体巻取りはプラグを持った状態で行ってください。電源プラグの跳ね上がりでけがをしたり家具などの破損の原因になります。

■フロアヘッドについて

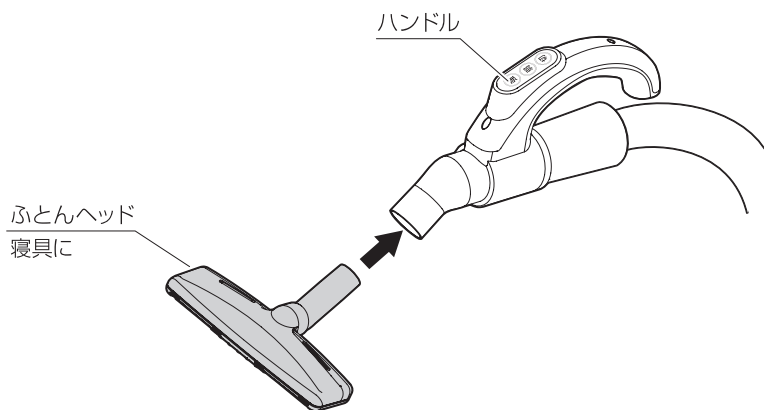
回転ブラシについて

- フロアヘッドを持ち上げたときは、安全のため回転ブラシは止まります。(ゆっくり回る場合もあります。)
- 毛足の長いじゅうたんなどでは、回転ブラシが止まることもあります。
- 回転している状態のブラシには絶対に触れないでください。



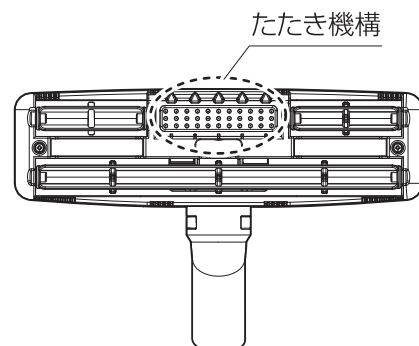
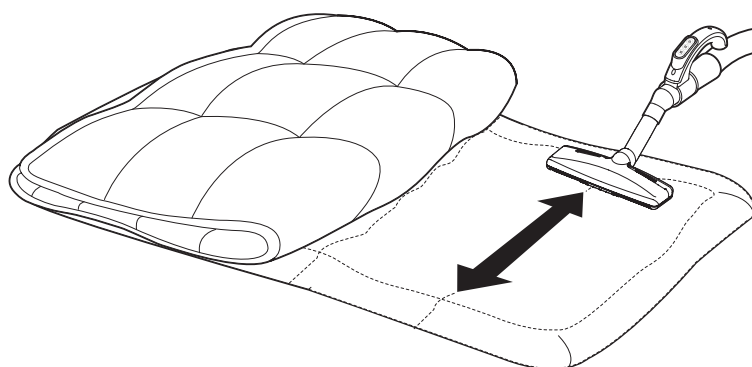
■ふとんヘッドについて

ハンドルに取り付けて使用します。
延長パイプにも取り付けられます。



ふとんの上で前後に動かしながら使用します。

- ・前後に動かすことでたたき機構が動作します。
- ・吸い付きが強い場合は、「弱」(弱運転) にしてください。
- ・寝具の生地を傷めるおそれがあるため、強く押し付けしないでください。

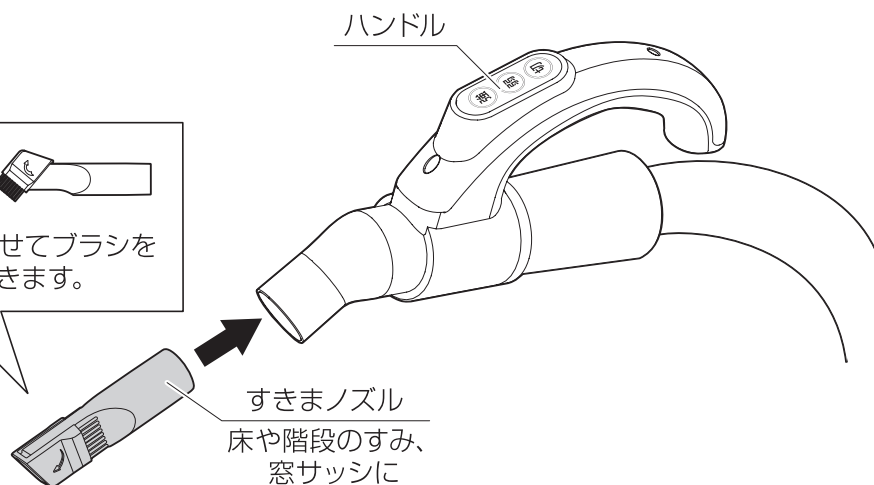
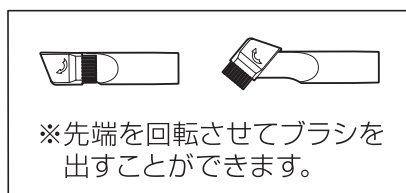


注意

- 掃除の際、床・壁・家具などに強く押し付けたりぶつけないでください。きずがついたり破損する原因になります。

■すきまノズルについて

ハンドルに取り付けて使用します。
ホースや延長パイプにも取り付けられます。



注意

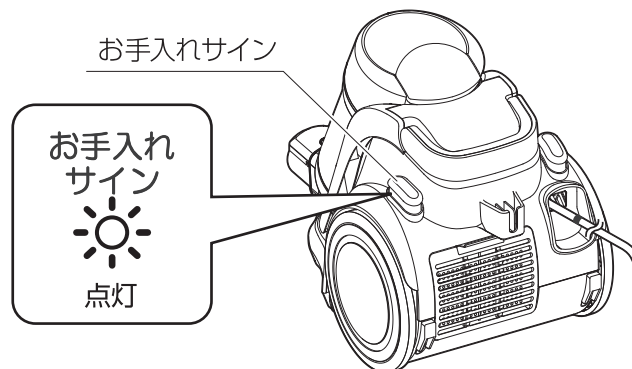
- 掃除の際、床・壁・家具などに強く押し付けたりぶつけないでください。きずがついたり破損する原因になります。

■お手入れサインの見かた

ダストカップ、フィルター類にゴミが詰まると「お手入れサイン」が点灯します。

このときは、ダストカップ、フィルター類をお手入れしてください。(P12、13参照)

※ダストカップ、フィルター類をお手入れしても「お手入れサイン」が点灯するときは、本体風路、フロアヘッド、延長パイプ、ホースにゴミが詰まっている場合があります。取り外して確認のうえ、お手入れしてください。



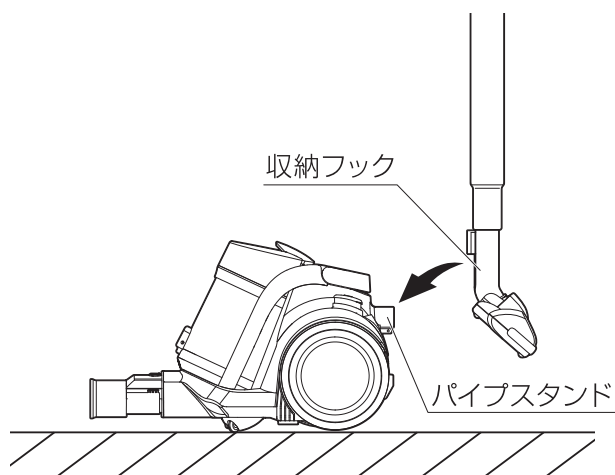
収納のしかた



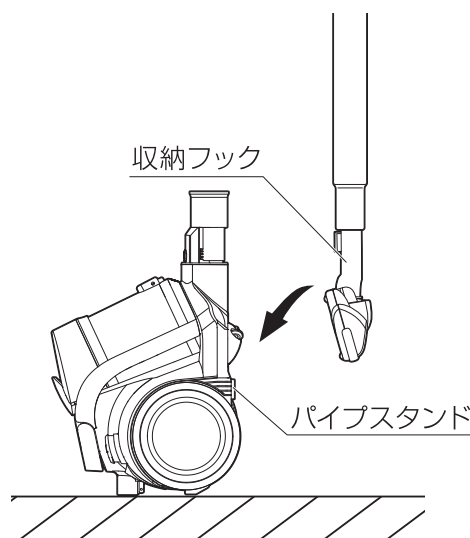
注意

- ご使用が終わったら電源コードはコード巻取りボタンを押して必ず本体に巻取ってください。小さいお子様などがコードで遊ぶと大変危険です。また電源プラグを誤って踏んだりするとけがの原因になります。

フロアヘッド側の収納フックを、背面のパイプスタンドに差し込みます。

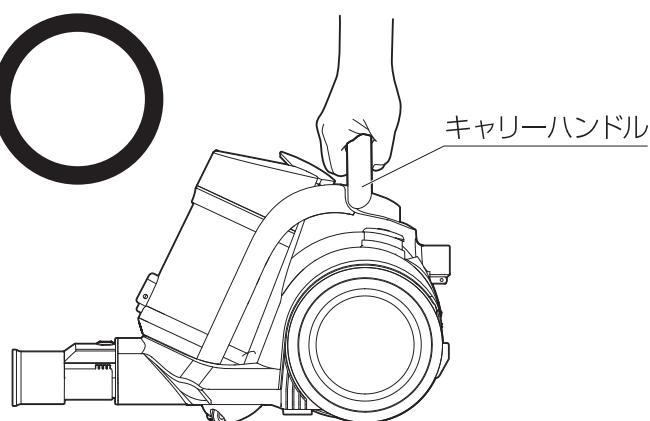
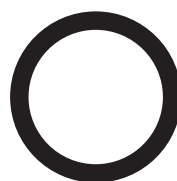
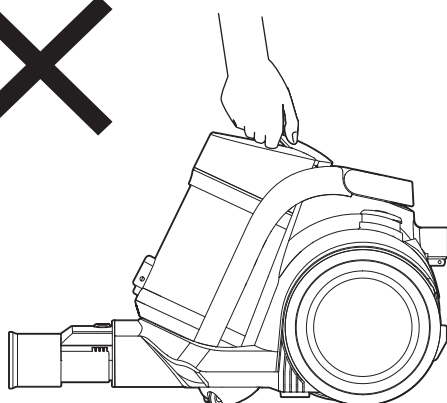


フロアヘッド側の収納フックを、底面のパイプスタンドに差し込みます。



注意

- 持ち運ぶ際には、必ずキャリーハンドルを持ってください。ダストカップ取り外しレバーを持って持ち運ばないでください。

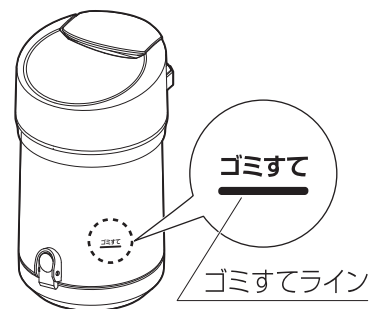


ごみの捨てかた

■ダストカップからごみを捨てる

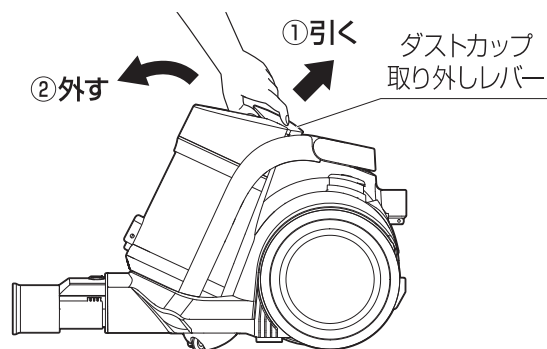
⚠ 注意

- ダストカップの「ゴミすてライン」以上ごみをためないでください。吸引力が低下します。
- ごみはこまめに捨ててください。
- 安全のために、ダストカップからごみを捨てる際には、必ず電源を「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 運転中にダストカップを取り外さないでください。



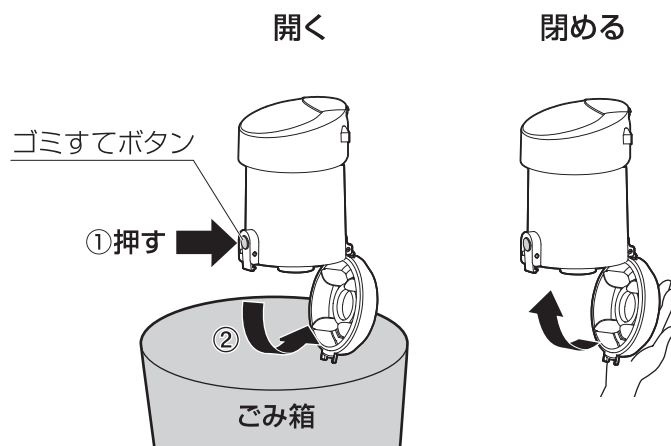
1 ダストカップを取り外す

ダストカップ取り外しレバーを引きながらダストカップを本体から取り外します。レバーを引かずに無理に取り外さないでください。



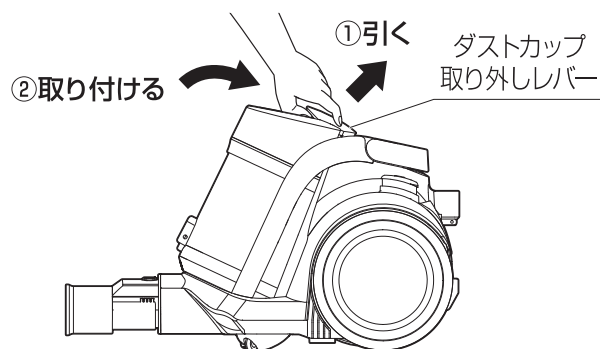
2 ごみを捨てる

ダストカップのゴミすてボタンを押します。底ふたが開き、ごみを落とすことができます。最後に手で底ふたをしっかりと閉めてください。



3 ダストカップを本体に取り付ける

ダストカップ取り外しレバーを引きながらダストカップを本体に取り付けてください。



お手入れのしかた



警告

●お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

●サイクロンユニットやフィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったらそのまま使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。

特に、「排気フィルター」や「スポンジフィルター」、「排気スポンジ」は、最低2ヶ月に一度は表と裏のほこりや汚れをきれいに落としてください。

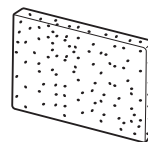
※2ヶ月は目安です。ごみの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。



排気フィルター



スポンジフィルター

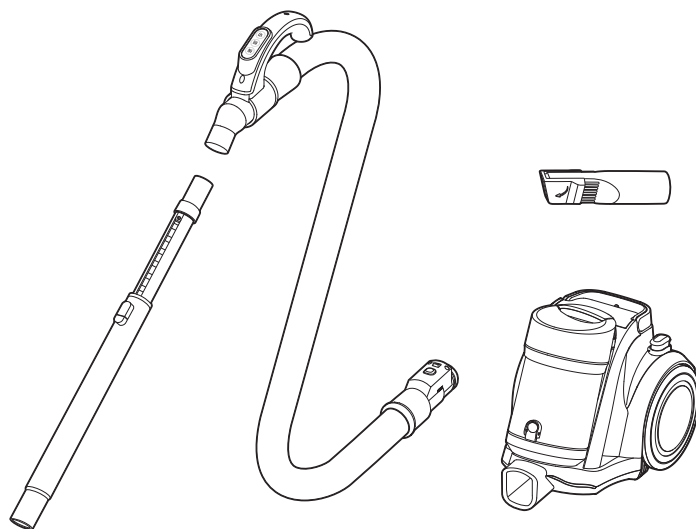


排気スポンジ

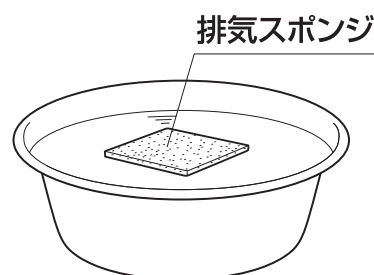
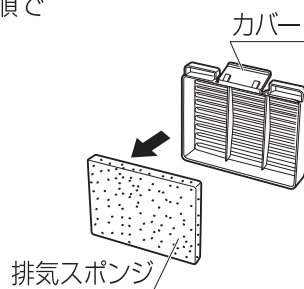
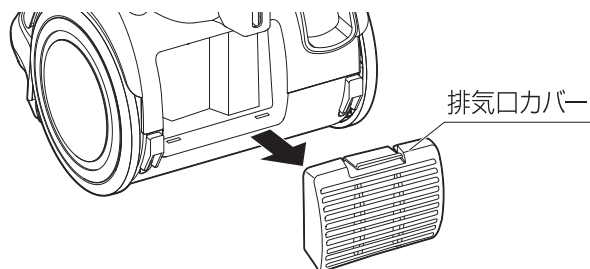
■本体、付属品のお手入れ

●布に水または薄めた中性洗剤を含ませ十分によく絞ってから拭いてください。

※お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。



●排気スポンジは、排気口カバーのレバーを押し下げて取り出し、内側から取り出して水洗いしてください。水洗いしたあとは、十分乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。

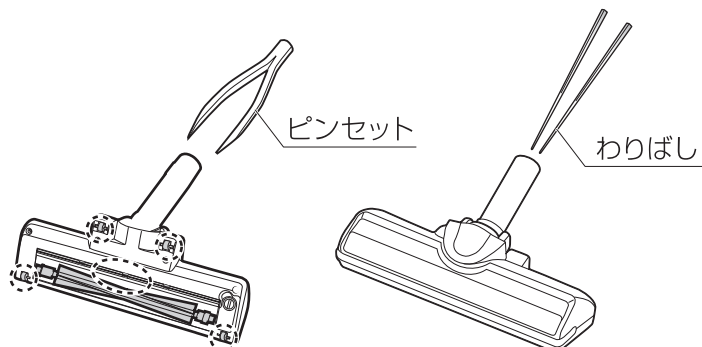


水を入れた容器にスポンジを浸け、ゆすいで汚れを落としてください。

■フロアヘッドのお手入れ

●部からみつけた毛・糸くずはピンセットなどで取り除いてください。表面は、布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、十分によく絞ってから拭いてください。

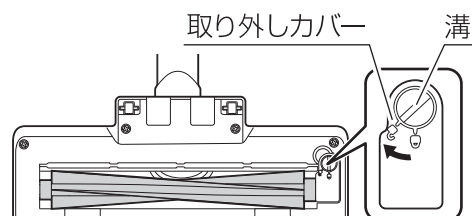
●フロアヘッド内部にごみがたまり、吸引力が落ちる場合があります。わりばしやピンセットで定期的に取り除いてください。



●回転ブラシのお手入れ

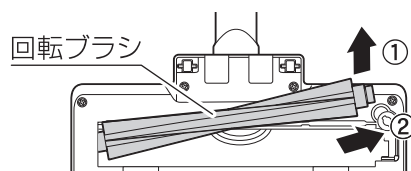
1 取り外しカバーをひらく

取り外しカバーの溝をコインなどで「凸」に合せ、カバーを外します。



2 回転ブラシを取り外す

回転ブラシを①の方向に上げ、②の方向に引き抜きます。

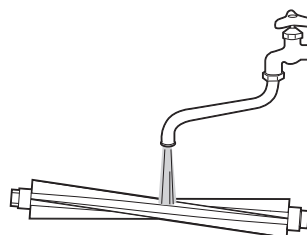


3 ごみ、ほこりを取り除く

回転ブラシの両端のごみを取り除いてください。

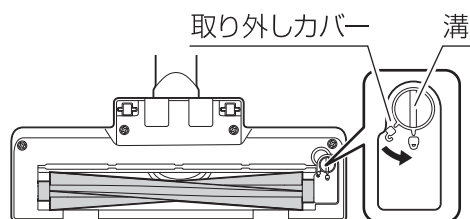
毛や糸くずなどが回転ブラシ部にかまっている場合は、はさみなどで取り除いてください。

汚れが落ちない場合は流水で汚れを落としてください。



4 回転ブラシを取り付ける

よく乾燥させてから、逆の手順で回転ブラシをセットし、取り外しカバーをぴったり閉め、最後に、溝を「凸」に合わせます。

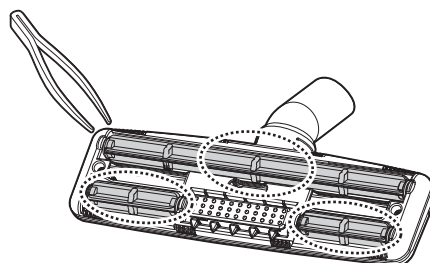


■ふとんヘッドのお手入れ

ヘッド裏のごみを取り除いてください。

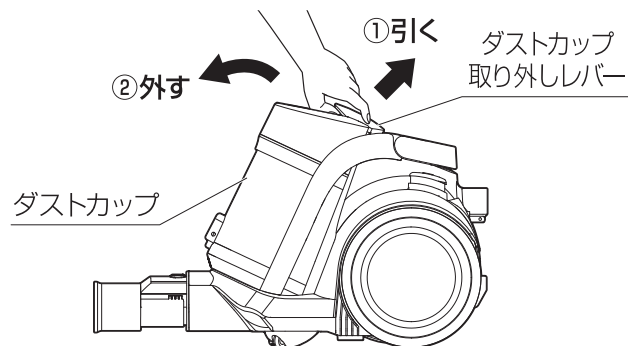
毛や糸くずなどが回転ローラー部にかまっている場合は、ピンセットなどで取り除いてください。

汚れが落ちない場合は流水で汚れを落とし、十分に乾燥させてから使用してください。



■ダストカップ、フィルター類のお手入れ

1 ダストカップを本体から取り外す (P9参照)

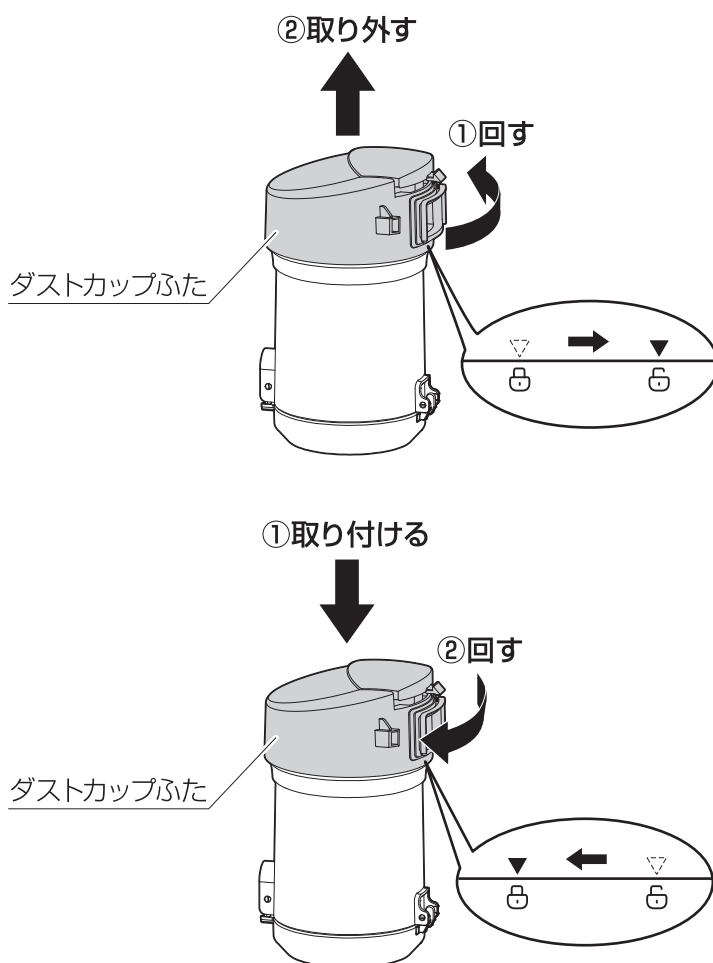


2 ダストカップふたを取り外す

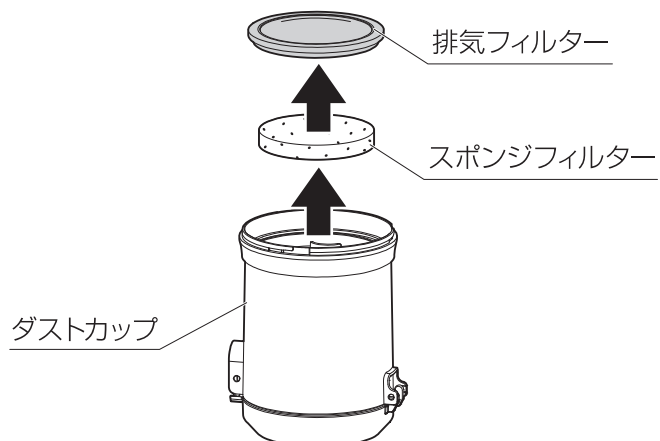
ダストカップふたの「▼」が「☺」の位置にくるまで矢印の方向に回し取り外します。

<ダストカップふたを取り付ける場合>

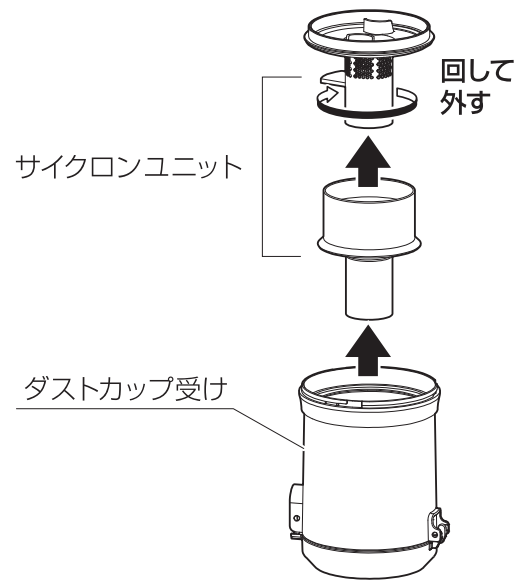
ダストカップふたの「▼」を「☺」の位置に合わせて取り付け、「▼」が「☺」の位置にくるまで矢印の方向に回し取り付けます。



3 フィルターを取り外す



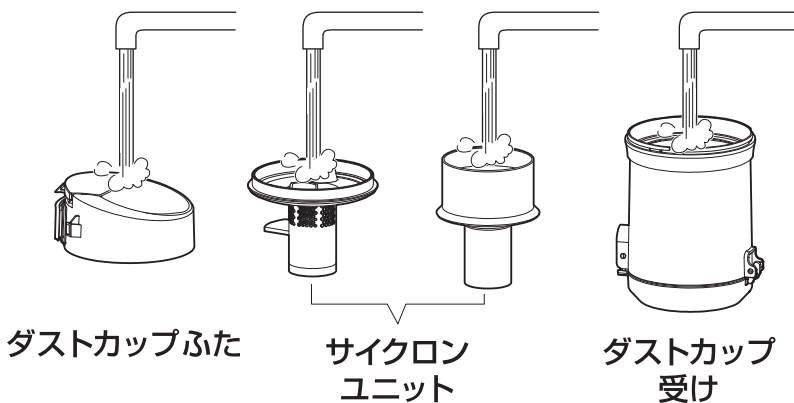
4 サイクロンユニットを取り外し、分離する



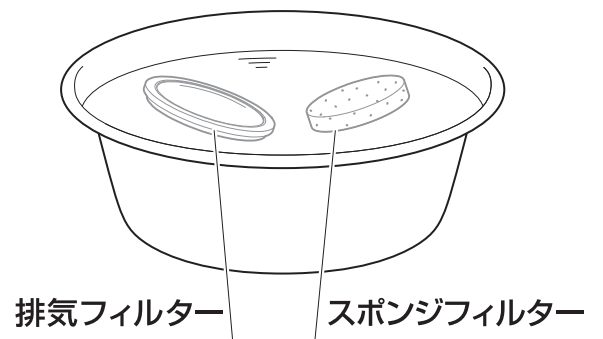
5 ごみを取り除く

各部品を軽くたたきながら、ごみを落とします。

6 水洗いをする



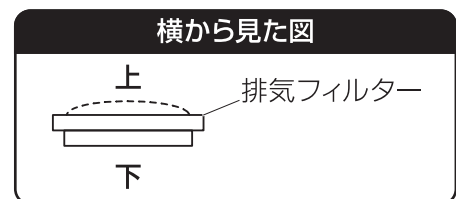
流水で汚れを落としてください。



水を入れた容器にフィルターを浸け、ゆすいで汚れを落としてください。

7 本体に取り付ける

十分に各部品を乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。
排気フィルターの上下を間違えないように注意してください。



注意

- 表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。
風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。
乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置	参照ページ
運転しない	●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない	●電源プラグをしっかりと再接続する	P6参照
	●フィルター類にごみやほこりがたまっている	●保護装置の説明にしたがい処置をする	P14参照
吸引力が弱い	●フロアヘッド、延長パイプ、ノズルが詰まっている	●中を点検し、詰まっているものを取り除く ●ダストカップのごみを捨てる ●フィルターのお手入れをする ●一度本体からダストカップを外し、ふたの状態を確認する	P9、10、11、12、13参照
「お手入れサイン」が点灯している	●フィルター類にごみやほこりがたまっている ●ダストカップが本体ときちんとかん合していない		
運転音が大きくなった	●フィルターの汚れがひどい ●吸込口やノズルに大きなごみが詰まっている	●詰まっているごみを取り除く	
電源コードが全て巻取りきれない	●巻取りの状態が曲がっている ●一か所に片寄っている	●電源コードを2mほど引き出し、再度巻取りボタンを押して巻取りをする	P6参照
電源コードが引き出せない	●巻取りの状態が曲がっている ●一か所に片寄っている	●巻取りボタンを押しながら、少しずつの長さで巻取りと引き出しを交互に行う ※無理に引っ張らないでください。	P6参照

保護装置について

「お手入れサイン」が点灯したままの状態や、フィルターやホースが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

<処置の仕方>

1. 本体の電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜く。
2. ダストカップのごみを捨て、フィルター類をお手入れする。(取扱説明書P9～13参照)
3. フロアヘッド、延長パイプなどが詰まっていないか確認する。
4. 涼しい場所におく。

約1時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

それでも解決できないときは

- ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V (50Hz/60Hz共通)	質 量	約5.1kg (フロアヘッド、延長パイプ含む)
消 費 電 力	1000W	本体寸法	幅341×奥行240×高さ281mm
吸込仕事率	200W		
集 塵 容 積	0.6L	コード長	5m

セット内容	掃除機本体、フロアヘッド(1個)、ふとんヘッド(1個)、すきまノズル(1個)、延長パイプ(1本)、ホース(1本)、排気フィルター(本体セット済み1個)、スポンジフィルター(本体セット済み1個)、排気スポンジ(本体セット済み1個)、取扱説明書(本書)
-------	--

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■ 消耗部品について

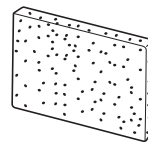
排気フィルター、スポンジフィルター、排気スポンジは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合、交換してください。
消耗部品のお求めは、当社アイリスコールまでご連絡ください。



排気フィルター



スポンジフィルター



排気スポンジ

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買上げ日より1年間です。
無料修理保証期間中に故障が起きた場合は、保証書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについてご不明な点は

お買上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

サイクロンクリーナー IC-C100TF

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お 客 様	ご芳名		
	ご住所 〒		
			電話 () -
※ 販 売 店	住所・店名		
			電話 () -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

製品に関するお問い合わせは **アイリスコール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは **修理専用コール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0800-170-7070

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

280115-GTO-LXD-01
P280115-GTO-LXD-01